

「まちづくり市民案」の提出にあたって

はじめに

私たちは、雲南市のまちづくりを考える市民会議が設置され、会議員の募集が行われたことを画期的なことと考え、「まちづくり会議」に参加しました。「協働による自治」「定住環境の充実」「安心生活の創造」「人が輝く教育・文化」「ふるさと産業の創出」の5つの分科会を設け、12回の全体会やその回数を上回る分科会で話し合いを進め、私たちの考えを「まちづくり市民案」として提出します。



私たちの提言

私たちは、事務局から提供された資料などにより雲南市の状況について認識を深めました。また、合併時に策定された新市建設計画の説明も受けました。これらのことを踏まえ、次の提言をします。

- 新市建設計画の「まちづくりの基本理念」を理解し、これに基づき、総合計画を策定すべきと確認しました。
- 新市建設計画の「人口の見通し」では、「平成27年度には地方自治法の市制要件である50,000人をめざします。」と設定されているところです。しかし、平成17年国勢調査速報値では、雲南市の人口は44,407人と発表されました。これを受け、総合計画の主な指標にあたっては、人口の定住策やU・J・Iターン施策などの促進を図ることにより、平成26年の人口目標を45,000人とすべきとしました。
- 新市建設計画を基本としながらも、市民の目から見た目標と施策の体系化を行い、私たちの言葉で表現しました。

- 財政状況も考慮し、目標到達に向け優先的にすすめるべき施策の選定を行いました。
- まちづくりには、市民や団体、企業、行政は協力し合い、それぞれの力を発揮していく「協働」の力が必要であることから、役割分担と共通の成果指標を定めました。成果指標は、市民参画による政策評価に活用してください。



むすび

私たちは、ふるさと雲南市をより良いまちにしたいと、話し合いを重ねるたびに強く思うようになりました。雲南市におかれては、この私たちの思いをしっかり受け止め、総合計画の策定をお願いします。

まちづくりの主人公は、市民一人ひとりです。私たちは、この提言の実現に向け、行政と手を携え、先頭に立ち、ふるさと雲南市のまちづくりを進める決意です。

「生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくり」にむけて、一緒に前進をつづけていきましょう。



平成18年6月28日 雲南市総合計画まちづくり会議一同

いのち
生命と神話が息づく新しい日本のふるさとづくりの実現に向け

雲南市総合計画、まちづくり市民案の提出

まちづくり会議（公募委員27人、地域委員会委員12人）では、昨年6月から全体会を12回、分科会を10数回以上開き、雲南市総合計画の市民案づくりを行ってきました。

その市民案がまとまり、6月28日、まちづくり会議報告会がチェリヴァホールで開催されました。

報告会では、まちづくり会議を代表し、「人が輝く教育・文化分科会」の松島俊枝としえ分科会長から、経過報告や要旨を説明した後、総合計画の「まちづくり市民案」

が速水市長に手渡されました。提出を受け、速水市長は「この市民案には、まちづくりに対する熱い想

いと将来のふるさとへの期待が盛り込まれています。市民案で求められている将来像を実現していく総合計画を策定していきたい」と応えました。

今回提出された市民案をもとに、雲南市のむこう8年間のまちづくりの指針を定める総合計画のうち、基本構想・基本計画を策定します。また各町の地域委員会から提出されている地域計画（市報6



月号参照）と併せて、雲南市総合計画案を構成していく予定です。雲南市総合計画は、現在実施しているパブリックコメントによりご意見を伺い、8月中には総合計画案を策定し、雲南市議会へ上程する予定です。

雲南市総合計画素案のパブリックコメントを実施しています

政策企画部政策推進課 ☎0854-40-1011

現在、市では、パブリック・コメントによる雲南市総合計画素案に対するみなさんからのご意見を8月11日（金）まで受け付けています。

素案は、市ホームページでご覧いただけるほか、市役所や各総合センターで閲覧することもできます。

「協働によるまちづくり」実現のためにも、みなさんからの積極的なご意見お待ちしております。